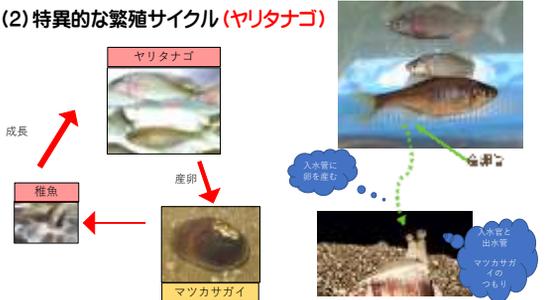
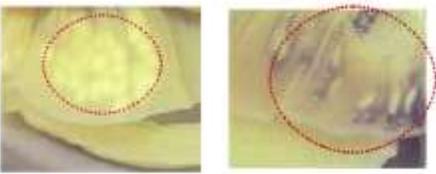


ヤリタナゴ

- 生活
 - 食性
雑食（水生小動物や付着藻類）
- 生息域
 - 本州、四国、九州北部に生息し、群馬県に生息する唯一のタナゴ
 - 川の中下流の流れのあるところや水路や池等



(2) 特異的な繁殖サイクル (ヤリタナゴ)

貝の内部へ産み付けられた卵 貝の中で成長

(2) 特異的な繁殖サイクル (マツカサガイ)



シマドジョウとドブガイ幼生 (マツカサガイもほぼ同じ)



細などにバクッと

川の中ではこんなにたくさんは付かない

我が家の水槽で2002年1月23日撮影

マツカサガイ 寄生相手



伊藤寿茂さん(新江ノ島水族館)調査

- ヤリタナゴ
- 増殖方法(ヤリタナゴ)
群馬県水産試験場(ヤリタナゴ担当) 鈴木純子さん提供
- 保護活動



供試魚



メス
産卵管が十分に伸びている

オス
婚姻色が明確になり、なわばり行動が観察される

採卵・採精と授精




大きさ: 約3mm

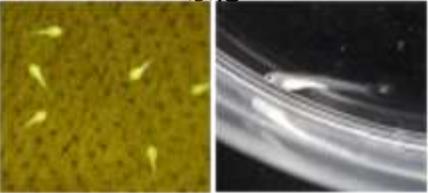
- シャーレに少量水を入れ、メスから卵をとる
- オスの精子を直接卵の入った水にかける

卵収容



- 水温22°Cに設定したウォーターバス内に収容する
- 暗所にて3日程度管理する

ふ化



ふ化後7日 (約5mm)

ふ化後20日 (約8mm)

なぜタナゴの生息数が減少したのか

タイリクバラタナゴ

オオクチバス

- (1) 生息環境の変化
 - 外来魚の移入
 - オオクチバス等
 - タイリクバラタナゴ
 - 河川改修やほ場整備工事
ほ場整備事業で土水路が三面コンクリート化された
- (2) 特異的な繁殖サイクル



ヤリタナゴと違い
マツカサガイは人工増殖できていない



適した自然環境下でしか生息できない

2. 保護活動の展開

—上毛新聞報道に基づく年表から—



上毛新聞概要
群馬県の地域地方新聞で、発行部数は約29万部。県内の世帯普及率は35%で、関東地方の地方紙では栃木県の下野新聞とともに、全国紙を上回るシェアがある(『ウィキペディア(Wikipedia)』)。

放送大学ケシヤブ先生と河合先生の研究「地球温暖化に対応する農法」に参加して

群馬県藤岡市におけるヤリタナゴ等保護略年表

—主に上毛新聞報道から—

作成 | やりたなごの会 掛川優子
2011-06-01

上毛新聞記事は、県立図書館新聞データベースより「ヤリタナゴ」をキーワードにして抽出したデータを新井健司さん(県立藤岡北高等学校)より提供いただいたものです

年	月	保護活動概要と掲載記事の発出(「」内)	新聞掲載日(主に群馬新聞)
1987 (昭和62年)		全国で環境保護事業が開始 群馬県業(自然環境確保基金)職員/タナゴ種及び全滅確認(藤岡市史自然編1989)	
1984 (昭和59年)	6月	「ヤリタナゴ」発見。マツカサガイの3種で発見(藤岡市史自然編2水質編(藤岡市史自然編1989) この発見は掲載されず、 発見 と記された。	1984/6/4
1998 (平成10年)	11月	「ヤリタナゴ」発見(約9人参加)松島さん、堀田隆夫さん・1998/11/23	
	12月	地元住民による「ヤリタナゴを守る会」発足(市文化財課後編)・1998/12	
1999年 6件掲載	3月	「群馬新聞」「ヤリタナゴの生息確認-藤岡で生息愛好会-県内では84年8月以来」 藤岡市-第1次藤岡市環境基本計画策定。ヤリタナゴ、マツカサガイなどの保護が盛り込まれた。	1999/3/2
	4月	「藤岡市が環境基本計画策定」	1999/4/6
	5月	「ヤリタナゴ生息調査 藤岡市 鮎川では水質も」	1999/5/4
	6月	「高小種 ヤリタナゴ 3か所で生息/藤岡市が調査」	1999/6/23
		「守れ!ヤリタナゴ 藤岡で環境問題協議会(守る)」	1999/7/6
		「ヤリタナゴ守れ さよう藤岡で環境問題協議会」	1999/7/7

【読売新聞】「やりたなごの生息確認-藤岡で生息愛好会-県内では84年8月以来」 1999/3/2

下戸塚地区



再発見!

年	月	保護活動概要と掲載記事の発出(「」内)	新聞掲載日
2000年 18件掲載	1月	「ヤリタナゴ調査会」発足(2000/1)	2000/1/13
		「(時の話題) 市瓦葺ロビーにヤリタナゴ展示 藤岡市」	2000/1/13
	2月	「ヤリタナゴやはり絶滅の危機 藤岡市が調査報告書 速やかな保護促される」	2000/2/6
	3月	「ヤマシノボリ」がいた。8.1河川と8ダム調査-ヤリタナゴ生息調査」	2000/3/3
	4月	「ヤリタナゴ保護を客申 藤岡市環境審議会」 美九里東小学校自然環境クラブ発足、ゆとりの時間の中で、テーマ「やりたなごを取り巻く環境を調べよう」で活動開始	2000/4/14
	5月	「ヤリタナゴ勉強会 参加者募集 21日に開催」 第1回ヤリタナゴ観察会開催ヤリタナゴ確認記 参加者72名(5/21)	2000/5/15
		「ヤリタナゴの保護を/勉強会に92人参加/河川で生息を確認/藤岡・神流地区」	2000/5/25
	7月	「藤岡市、ヤリタナゴ、マツカサガイ、ホトケドジョウの3種を市天然記念物に同時に指定」 「市天然記念物にヤリタナゴ、マツカサガイ、ホトケドジョウ」(藤岡市市歌委が指定/市環境審議会に勧告呼びかけ)	2000/7/1
		「ヤリタナゴの環境は? 藤岡・美九里東小自然環境クラブ 護岸工事の河川見学」	2000/7/5
	8月	「ふれあい体験昆虫採集や工作 美九里東・中央公園・市民ホール」	2000/8/5
		「夏休みの思い出できた 藤岡・ふれあい体験クラブが 昆虫採集、工作楽しむ」	2000/8/7
		「ヤリタナゴ 県水産試験場 絶滅の危機免れそう 増殖技術にゆだね」	2000/8/21
	9月	「来月から職員の出前講座開始 藤岡市」やりたなご関係講座も	2000/9/4
		「ヤリタナゴが大量死 生息知らずに水田上用干し 藤岡市の天然記念物」	2000/9/15
	12月	「水郷で調査 身近に観察 神流小と美九里東小 ヤリタナゴが入学 市教委配布 水郷で飼育、観察へ、自然の大切さを学ぶ」	2000/12/6
		「藤岡の神流小、美九里東小 ヤリタナゴが入学 市教委配布 水郷で飼育、観察へ 自然の大切さを学ぶ」	2000/12/13

第1回ヤリタナゴ観覧会開催ヤリタナゴ確認1匹 参加者72名(5/21)



ヤリタナゴの保護を
藤岡市で中心を執る

第1回観覧会では、ヤリタナゴは1匹しか見つかりませんでした。それも尻尾をちぎられた個体でした。

第16回まで続きました。



毎年5月に開催

2011年第12回観覧会

ヤリタナゴ観覧会

ヤリタナゴ観覧会で採卵の実演




第16回ヤリタナゴ観覧会
14匹 2016/5/24
(圃場整備工事開始で以後中止)

後ろからも見えるように台上がりました

市天然記念物にヤリタナゴ、マンササカイ、ホトケドジョウ/藤岡市市教委が指定/ 2000/7/4

平成12(2000)年7月1日
市天然記念物に指定



藤岡市教委が指定

平成12年7月4日 上毛新聞

農業用水が切れて、ヤリタナゴが大量に死亡

ヤリタナゴ 大量死

農業用水干上かる



こんなこともありました

ここにいるなんて、聞いてなかったんだ

毎年やってくる農業作業だ

ものすごく怒っていました

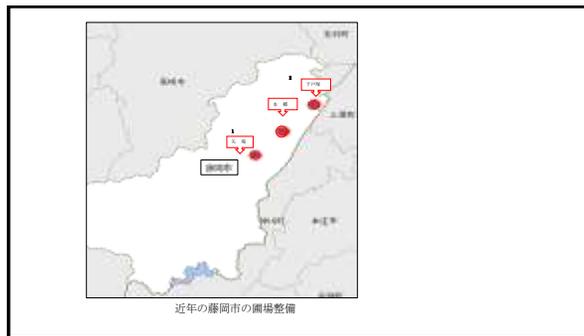


市民団体も保護活動開始

- ・ヤリタナゴを守る会(1998) 地元住民が市文化財課の委託を受け結成
- ・ヤリタナゴ調査会(2000～) 再発見した市民が結成
- ・旧笹川を守る会(本郷) 地元住民がメダカ保護のため結成・マツカサガイを発見!
- ・やりたなごの会(2002.3) 矢場環境水路の維持管理のため結成
- 美九里東小学校自然環境クラブ(2002.4) ゆとりの時間に活動
- ・県立藤岡北高等学校(2003.5) 矢場環境水路希少植物保護

美しい山から
いけるよ

環境保護の種
が育ちます
大切に!



市内3か所の 生息地と保護団体

生息調査:ヤリタナゴ調査会

下戸塚 - ヤリタナゴ・マツカサガイ・ホトケドジョウ

矢場 - マツカサガイ・ホトケドジョウ

本郷 - マツカサガイ

ヤリタナゴを守る会

旧笹川を守る会

やりたなごの会

美しい山から
いけるよ

2001年 13件掲載

2001 (平成13 年)	1月	土地改良法(2001年)が改正され、「環境に配慮」が実施原則となった。	
		『(時の話題) 2001年みらい藤岡子ども議会 環境問題』	2001/1/21
		『神流小学校と美九里東小学校に市教育委員会がヤリタナゴを配布』【藤岡市広報】	2001/1/1
	2月	『ヤリタナゴのすめるきれいな自然を守っています/市天然記念物「ヤリタナゴ」神流小・美九里東小で飼育・観察』【群馬県広報】	2001/2/1
		『ヤリタナゴ 群馬県動物レッドリスト 絶滅危惧I類に指定』	2001/2/15
		『産が動物産レッドリスト ヤリタナゴやメダカ…5・2・6種 水辺の環境悪化』	2001/2/16
		『天然記念物ヤリタナゴ 「じっくり観察を」 藤岡市 8小中学校に配布』	2001/2/21
	4月	『地域で守り育てようやりたなご』【群馬県広報】(ぐんま広報2001.2No.141)	2001/4/1
		『マツカサガイの人工繁殖 国内で初めて成功 湧水産試験場 ヤリタナゴ保護に貢献』	2001/4/29
	5月	『ヤリタナゴに快活往環境を/藤川志に石組「基礎」設置/今秋の2にデータ収集』【販売新】	2001/5/21
	6月	『《環境対策学校ぐるみで》 学校周辺を親子で清掃藤岡東中』	2001/6/5
		『体験を大切に 身近な川調査 ぼくらが環境活動の主力 藤岡・美九里東小の子どもエコクラブ ヤリタナゴの里を守る』	2001/6/20
	7月	『水や森林の大切さPR あすまで県庁で展示会』	2001/7/10
	『第2回ヤリタナゴ観察会』(「群馬県環境アドバイザー多野藤岡ブロック」 33区)	2001/7/20	

ほ場整備事業

生物の住場所
奪ってきた

これまではほ場整備に環境に配慮する概念はなかった

水田や畑を、生産性が高く、農業機械が容易に導入でき、岩盤が容易に入るといよりよい農地に整備すること。工事は、区域一帯を平坦化するため、生物は一掃された。

土地改良法(2001年)が改正され、「環境に配慮」が実施原則となった。

ほ場整備以前

環境保全型水路整備

整備後の農地

藤岡南部地区 湧水の流れる素掘りの土水路 (2002.12.19)

ホトケドジョウ

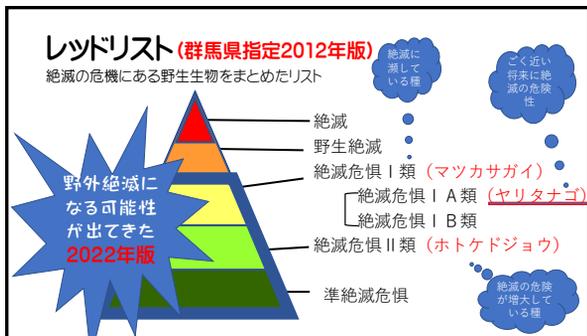


広報ふじおか (13. 1. 1)

学校ヤリタナゴ

市内小中学校にヤリタナゴ配布 (市文化財保護課)

みんなで大切に育て、ヤリタナゴの住める自然をまもっていきましょう



群馬県の絶滅のおそれのある野生生物

やりたなご野生絶滅に

2002年 7件掲載

年次	掲載内容	掲載日
2002 (平成14年)	「ヤリタナゴ生息環境探る さよふ藤岡・ヤリタナゴフォーラム開催報告」	2002/4/14
	「やりのなごフォーラム—小川の未来を考える—(ヤリタナゴ調査会主催・共催)(財)日本自然協会 藤岡市 4/14	
	「ヤリタナゴを考える 藤岡でフォーラム。130人が意見交換」	2002/4/18
5月	「みんなの宝物」 田川 「守ろうヤリタナゴ」 藤岡東中でヤリタナゴ調査と田川清掃活動 紹介 藤岡東中 藤岡市本郷 福義正副校長、63人」	2002/5/21
	第3回ヤリタナゴ観察会 「カフクラの会主催」 9日 5/25	
	「ヤリタナゴ見つめた 藤岡で小学生 足を泥だらけに観察会」	2002/5/26
6月	「ほたるの会」と田川さんを表彰・環境省管理地水環境部長賞	2002/6/19
10	「県環境賞 ヤリタナゴ調査会受賞」	2002/10/30
	「県環境賞自治体賞地整備事業(県業務型)工事開始(2003年版)」	

やりたなごフォーラム

市民団体ヤリタナゴ調査会主催

4月に土地改良法(2001年)が改正され、「土地改良事業の環境配慮」が実施原則となった直後だったので、県農村整備部長からの共言が目ざされ、工事などの関係者の出席が多かった。

2003年 10件掲載	2月	「こどもエコクラブ活動紹介/ヤリタナゴを取り巻く環境/藤岡東小中学校自然環境クラブ」	2003/2/2
		「上毛新聞社来訪(19日)/ヤリタナゴ調査会事務局長」	2003/2/14
	3月	「やわたなごの会発足/尖東環境水路完成後の維持管理が目的 3/3」	2003/3/3
	5月	「親子で校内外を清掃 藤岡東九里東小/農業用水清掃」	2003/5/19
		「700人が校内清掃奉仕 藤岡東中PTA 生徒らも自主参加/野川、道路、公園清掃」	2003/5/21
		「藤岡南部に生る貴重な植物の調査会」及び「保護対策会議(やわたなごの会)5/6」	
		「貴重な植物が引越し/藤岡の農地整備で危機→事業終了まで一時保護/希少植物を採取する藤岡北高生徒ら(読売新聞)」	2003/5/13
		「絶滅危惧植物保護へ「緊急避難」措置/環境団体と高校生が協力」	2003/5/13
		「三山春秋/植物再生に向けた高校生たちの取り組みに期待したい」	2003/5/16
		「第4回ヤリタナゴ観察会 「やわたなごの会」 38班 参加者63人 5/22」	
	「(市町村議会)ヤリタナゴの保護検討課題」	2003/6/14	
	8月	「藤岡南地区一自然環境に配慮した工法検討委員会」発足(西部農業総合事務所)」	
	9月	「川を渡る/農業用水にもっと関心をやわたなごの会/ゆりたん/ゆりたん/水辺で多彩な楽しみ(ぐんま経済新聞)」	2003/9/18

多野藤岡で絶滅となっていた植物3種

保護するならば早く移植してください。圃場整備工事始まるから！

カワジシャ (ゴマノ) 希絶危惧II類

ミゾコウジュ (シソ科) 環境省準絶滅危惧

水田雑草 (地改良区)

上毛新聞2003年5月13日

絶滅危く植物保護へ 緊急避難

愛護団体と高校生が協力

読売新聞2003年5月13日

貴重な植物 お引越し

「希少植物を採取する藤岡北高の生徒ら」

上毛新聞2003年5月16日

山春秋

「高校生たちの取り組みに期待したい」

平成15(2003)年

矢場地区ほ場整備事業開始

土地改良法(2001年)が改正され、「環境に配慮」が実施原則となったので、工法検討会議が開催された

工法検討会議、ギリギリ間に合って、環境水路ができました

8月 「藤岡南部地区-自然環境に配慮した工法検討幹事会」発足(西部農業総合事務所)

多なら「希少種が生息しているため、どのように保護するの」

2007年 3件掲載	5月 第10回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会) 30日 5/28	2007
	5月 第11回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会) 30日 5/28	2007
	11月 ヤリタナゴ守ろう 保護活動グループ 冬の湧水前に移動 藤岡	2007/11/26
2008年 2件掲載	2月 「地域の絆 字支援ボランティア(146)」 藤岡九里東小 校長が児童指導 伝統文化や環境学習」	2008/2/3
	「ヤリタナゴ守ろう 藤岡 親子130人が観覧会 絶滅危惧種 ヤリタナゴ観覧会 藤岡で「守る会」」	2008/5/20
	5月 第10回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会) 6日 5/24	
2009年 1件掲載	3月 藤岡市・第2次藤岡市環境基本計画策定(平成21年3月)	
	5月 第100回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ研究会、ヤリタナゴの会) 8日 5/24	
	「ヤリタナゴとつた」 藤岡で観覧会子供ら環境や生物学習」	2009/5/25
2010年 4件掲載	第11回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ研究会、ヤリタナゴの会) 15日 5/22	
	ヤリタナゴ守ろう 絶滅危惧種の湧水集 150人が参加環境学習」 藤岡	2010/5/23
	県内各地の天然記念物 ミヤコナゴ 人工繁殖へ 県水産庁管内から引き取り 富岡・自然史博物館	2010/5/27
	「減らよみ・生息のつなごり(人間の生活再考する例区・写真/藤岡定)	2010/12/1
	「守るのほろー生物を種地に向けて(3)」 希少種 絶滅危惧種/絶滅 希少な生物の保護と絶滅/ヤリタナゴを守る会」	2010/9/23
	11月 藤岡市のヤリタナゴの生息域上流に橋架工事が始まる	

ヤリタナゴ守ろう 保護活動グループ 冬の湧水前に移動 藤岡 (2007/11/26) 毎年春と秋に

2011年 3件掲載	4月 「7団体に絶滅危惧種対策 新要出産研究会などヤリタナゴを守る会」	2011/4/4
	5月 第10回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ研究会、やりたなごの会) 8日 5/22	
	「ヤリタナゴ守ろう」 藤岡 親子で湧水前の生物観察」	2011/5/23
	10月 グループが生物の調査成果 必ず記録/群馬県外生協等/ヤリタナゴ保護の10年 研究発表発表 予稿」	2011/10/28
	2月 動物物の保護報告 富岡 保護や対策考える-県野生生物協/対策報告会/自然史博物館、ヤリタナゴ研究会自然史博物館、ヤリタナゴ研究会	2012/2/16
	5月 ヤリタナゴ放流の集い(定員20名)(ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ研究会、やりたなごの会) 24日	
2012年 2件掲載	「ヤリタナゴよみがえれ/水不足危機で放流」	2012/5/28
	24日 下戸地区環境整備事業開始-10年3月終了予定 タナゴは天候地区に渡渡	
	4 「企業数地に定置の池 絶滅危惧種/ヤリタナゴ 藤岡市がナゴと買置」ナゴにピープ完成 2012年4月 ヤリタナゴ観覧に即し出	2012/4/4
	「ヤリタナゴつた」 放流のピコープに放流 藤岡市ナゴのピコープにヤリタナゴ放流	2012/4/12
	5 第11回ヤリタナゴ観覧会(ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ研究会、やりたなごの会) 8日 5/22	
	「増えるヤリタナゴ 藤岡 親子100人が観覧会」	2012/5/27
	(25年県農業競争力強化推進事業/10年地区工事開始-83年4月終了予定-83年4月終了予定(本郷地区環境整備事業)	

藤岡市天然記念物 ヤリタナゴよみがえれ 水不足危機で初放流

ヤリタナゴ放流の集い

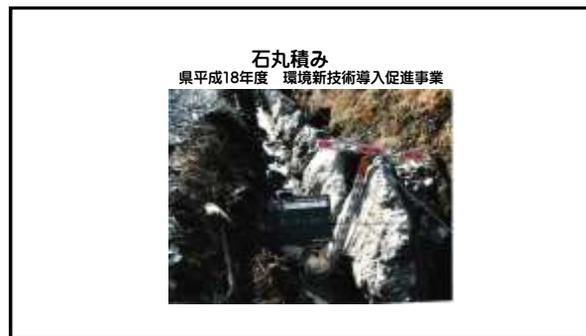
お知らせ



2011年 3件掲載	4月	「7団体に数種環境財団助 新豊原田研究会など「ヤリタナゴを守る会」	2011/4/4
	5月	「第1回ヤリタナゴ調査会(「ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ調査会、やのたなごの会)」 5回 5/22	
	10月	「ヤリタナゴ調査会(「ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ調査会、やのたなごの会)」 8回 10/28	
2012年 2件掲載	10月	「6グループが生物の研究成果 茨城県/群馬県/栃木県/群馬県/「ヤリタナゴを守る会」の10年 研究成果発表 予白」	2011/10/28
	2月	「動物園の保護報告 富田 野鳥や「野鳥を守る会」野鳥生動物園・「鳥獣被害防止会/自然史博物館、ヤリタナゴ調査会自然史博物館、ヤリタナゴ調査会」	2012/2/15
	5月	「ヤリタナゴ放流の集い(「定員30名」)「ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ調査会、やのたなごの会)」	
2013年 3件掲載	2月	「ヤリタナゴとみどり水不況急増で放流」	2012/5/28
	2月	「下戸塚地区ほ場整備事業開始—R2年3月終了予定 タナゴは矢場地区に放流」	
	4月	「企業敷地に定植の場 結成会(「ヤリタナゴ 藤岡市ガチノと青葉)チノーにレポート完成 2011年4月 「ヤリタナゴ調査会」に出」	2013/4/4
	4月	「「ヤリタナゴやのたなご」 民間のサポートに放流 藤岡市ガチノのサポートにヤリタナゴ放流」	2013/4/12
	5月	「第1回「ヤリタナゴ調査会」(「ヤリタナゴを守る会、ヤリタナゴ調査会、やのたなごの会)」 8回 5/25	
	5月	「増えるヤリタナゴ 藤岡 親子100人が観察会」	2013/5/27
	5月	「(25回)県農業技術普及推進事業「田川沿岸地区工事開始—R3年4月終了予定—R3年4月終了予定」(本郷地区環境整備事業)」	

藤岡市におけるほ場整備事業

1998	11月	ヤリタナゴ再発見
2001	1月	土地改良法(2001年)改正、「環境に配慮」が実施原則
2002		県営藤岡南部地区農地整備事業(県営育成型) 工事開始
2003	9月	「藤岡南部地区—自然環境に配慮した工法検討幹事会」発足
2006	春	藤岡南部地区の環境配慮型水路完成
2012		下戸塚地区ほ場整備事業開始 R2年3月終了予定
2013		本郷地区(田笹川)ほ場整備事業工事開始、R3年4月終了予定
2017	3月	県営藤岡南部地区農地整備事業(県営育成型) 終了解散



石丸積み

- 群馬県藤岡市鬼石地域の石匠の間で受け継がれてきた石積み技術を改良した石積工法。伝統工法。
- 巨石をクサビ状に配置、組み合わせたもので、適度なかみ合わせて堤体が安定し、**床固工を必要としない。**
- 複雑な間隙構造と表面の凹凸が得られ、**生物の生息に適している。**

下戸塚のヤリタナゴ生息数の推移



保護活動開始後
個体数は増加

↓

生息域下流の3面コンクリート改修と、笹川の生息域上流の架橋工事後、ヤリタナゴ減少。

ほ場整備工事も始まり、ヤリタナゴ観察会は第16回を最後に中止(2015)



掲載年	掲載数	掲載内容
2014年	2件掲載	5月 第15回ヤリタナゴ観察会 3区 5/25 6月 《おまわりくんで》高川・神流川サイクリングロード (藤岡市本郷〜高崎市新町) 自然と歴史を感じて(水沼神社 ヤリタナゴ生息地 サイクリング紹介) 2014/6/18 8月
2015年	7件掲載	1月 『藤岡市天然記念物 ヤリタナゴ守りたい』藤岡南ロータリークラブ 池の辺跡さ すみよな ヤリタナゴ生息地調査結果発表 4月 さよう橋橋大改修 藤岡 ヤリタナゴを守る会 『地域連携、評価された』/環境大臣表 2015/4/22 第16回ヤリタナゴ観察会 14区 5/24 (以後中止) 5月 『ヤリタナゴ捕まえた』藤岡 河之瀬用水で観察会 小中学生ら100人 環境庁表 2015/5/25 6月 アップアーンシャルフェス「貴重な魚」子どもやく 100人が用水路でぞめぞめいや観察 藤岡でヤリタナゴ保護プロジェクト 発表 2015/6/16 10月 アップアーンシャルフェス「ツツカサガイ育ってる 藤岡でヤリタナゴ保護プロジェクト 発表」100人観察会 11月 『ヤリタナゴすむ川守れ』美九農業小児童ら清掃 藤岡 2015/11/22 下戸塚ほ場整備工事開始のためヤリタナゴなどの回収作業 2015/11/3
2016年	7件掲載	『学校ヤリタナゴ』再配布運動開始(ヤリタナゴの会) 2016年春 6月 藤岡市環境水路に草刈ボランティア・電気通信群馬地区 青年女性委員会 2016/6/5 『ヤリタナゴ守ろう』美九農業小児童が清掃活動 藤岡 2016/6/11 『アップアーンシャルフェス』希少なヤリタナゴ観察 親子が環境保全学ぶ 藤岡 2016/6/27 9 学校ヤリタナゴ再配布・美九農業小、第一小、鬼石小、北中 9/16 『川の話題・金、地蔵守り有む』学校ヤリタナゴ・藤岡市内の小中4区にヤリタナゴ5隻づつ再配布 2016/9/17 10月 アップアーンシャルフェス「ヤリタナゴの観察会」23日、藤岡・下戸 2016/10/2 11月 ヤリタナゴ通に環境保全学ぶ 親子100人が清掃、観察 藤岡/アップアーンシャルフェス2016発表 2016/10/24

初めての申し込み

藤岡南部環境水路に草刈りボランティア・電気通信群馬地区 青年女性委員会

思い切って受け入れ

2012年区での管理終了(矢場環境水路)

水路内に繁茂するオオカワジシャ(外来種)



人の手が入らないとこんなことに!

多様な河床環境が必要

やりたなこの会

水路内に雑草が生える
↓
流れが悪くなり泥質に
↓
マツカサガイの生息に不適
水生生物の生息にも不適
↓
エサ不足

高齢化! この先どうしよう



学校ヤリタナゴ再配布

<時の話題 上毛新聞 2016年9月17日>



2019年1月7日

2017年
6件掲載

2017 (平成29年)	3月	野生生物の確保安全ネット「ヤリタナゴ」の甲を伝える報告会 福井県で国体運動内容発表 県立自然史博覧館(ヤリタナゴを守る会)主催(2)	2017/3/8
	3月	県産魚苗育成施設「水辺環境整備事業(県産魚育成)」終了披露	
	5月	「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 6月18日に開催 参加者を募集!	2017/5/20
	6月	文庫地区環境水辺に「ヤリタナゴ」保護プロジェクト 6/4	2017/6/4
		「ヤリタナゴ」の生息環境整備 群馬県生息地保全委員会	2017/6/5
		「ヤリタナゴ」保護へ 沼田川(てこみ池) 児童らが清掃 群馬県	2017/6/20
2018年 6件掲載	7月	環境水辺に「ヤリタナゴ」保護プロジェクト 群馬県 群馬県生息地保全委員会 7/2	2018/7/2
		「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 親子で環境保全活動 群馬県 宇治	2018/7/18
		「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 群馬県 宇治	2018/7/18
		「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 群馬県 宇治	2018/7/18
		「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 群馬県 宇治	2018/7/18
		「アサアライシ」のヤリタナゴ保護プロジェクト 群馬県 宇治	2018/7/18

2018年
6件掲載

草刈りボランティア/ヤリタナゴの水路整備 藤岡工高生24人 2018/7/1




ヤリタナゴ! ドジョウ・カワニナ・タニシ



マツカサカイ!



サワガニ



2019年 12件掲載	1月	高、池端 守心亭「学校ヤリタナゴ」 藤原市環境教育推進「ヤリタナゴを守る会」(高丸里東小児童会)	2019/1/7
	2月	「環境・エコ・エソ」 環境水路と動物性/生物性汚染を予防したい(池川博子) 3/15	2019/1/15
	3月	藤原市第3次環境基本計画策定 3月	
	4月	環境・エコ・エソ ヤリタナゴ工事「保護へけい路の築設(池川博子) 3/11	2019/5/11
	5月	大塚地区環境水路保全活動に参加(ボランティア)に「ヤリタナゴ」のホープと心構え 3/30	2019/5/30
	6月	環境・エコ・エソ 畜舎の汚染を減らす(池川博子) 5/4	2019/5/14
	7月	大塚地区環境水路保全活動に参加(池川博子) 5/29	2019/5/29
	8月	農業水路を整備「ヤリタナゴ」保護 藤原市農業 2019/5/27	2019/5/27
	9月	【秋の感謝】石狩川清掃活動(1)	2019/6/7
	10月	大塚地区環境水路保全活動に参加(ボランティア)「藤原北高校と環境工科大学、藤原農林経営者協議会」	2019/6/23
	11月	「ヤリタナゴ」を守ろう水路の草刈り(池川博子)	2019/6/24
	12月	環境・エコ・エソ レンパッド、設備の補修(池川博子)	2019/6/29
2020年 2件掲載	2月	環境・エコ・エソ 学校「ヤリタナゴ」の環境教育(池川博子)	2020/1/20
	7月	環境水路(藤原市農業センター)の保全と環境水路の環境教育	2020/7/20
	11月	ヤリタナゴを「もも」(池川博子)に環境教育	2020/11/1
2021年 3件掲載	1月	環境水路内の牧草でセルロース系食品(池川博子)	2021/1/10
	5月	畜舎に感測(7割)に感測(ヤリタナゴ)を	2021/4/7
	6月	藤原北高生ビオトープ整備「ヤリタナゴ」育つ場	2021/5/23



ヤリタナゴ関係報道記事の推移(主に上毛新聞)

掲載年	掲載件数	主な内容	掲載年	掲載件数	主な内容
1999	6	ヤリタナゴ再発見	2011	3	ヤリタナゴ観察会
2000	18	保護活動、学校ヤリタナゴ	2012	2	ヤリタナゴ観察会
2001	13	藤原市天然記念物に指定	2013	3	企業「ノービオ」がヤリタナゴ救済
2002	7	表彰2件	2014	2	ヤリタナゴ観察会
2003	10	学校の保護活動	2015	7	環境大臣賞、アグロソーシャルフェス
2004	2	ヤリタナゴ観察会	2016	7	学校ヤリタナゴ再配布(車利所ボランティア(企業))
2005	4	青少年環境水路保護	2017	6	アグロソーシャルフェス、車利所ボランティア
2006	8	ヤリタナゴ観察会	2018	6	車利所ボランティア-学校ヤリタナゴ再配布
2007	3	ヤリタナゴ観察会	2019	12	車利所ボランティア-学校ヤリタナゴ再配布
2008	2	ヤリタナゴ観察会	2020	2	学校ヤリタナゴ再配布(農工、北高)
2009	1	ヤリタナゴ観察会	2021*	3	車利所ボランティア、表彰
2010	4	ヤリタナゴ観察会			

*12021/5/20現在

3 矢場環境水路に 戻ってきた生物たち

水生昆虫の種類

ほ場整備工事以前
1 2種類

↓

ほ場整備工事後約10年
2 5種類



(2000年8月群馬県調査)

1) 土地改良工事前に葎草等が地域に蔓延していた水生昆虫

群馬県が2000年8月16日に行った調査で、コガシマトビケラ、ムラサキトビケラ(両種)オニヤシマ、ウスバヤシマ、モンキヤマダゴロウ、コマダゴロウ、ハマドビシ、アサカサギヤシマ、シマイシバヤシマコガシマトビケラ、ハネシユスリカ属、マルタニシが繁殖されていた。[良好な自然環境を有する地域(宇都宮県)水生昆虫の少ない1ヶ月調査の結果]であるが、筆者が2000年からマツカサギ調査で同地区の水路を見てきた印象では、この繁殖以上に水生昆虫類は貧弱であった。





終わりに反省

2001年にほ場整備法が改正され、環境に配慮したほ場整備事業となり、土地改良区、環境保護団体、行政が地域に生息する生物保護のために環境水路などの工法をともに検討し、事業が行われるようになった。しかし、そこに生物を無事に戻し、定着させることの検討はほとんど行われなかった

その後約20年がたち、多くの希少な生物を失ってきたが、細々とではあるが環境保全型水路に希少な生物が生息していることから、生物が生息可能な水路を造ることはできることが分かった。

ほ場整備事業における環境保護が、環境水路を造ることで終わらず、そこに生物が戻り、世代を繰り返すことを目指したい。

参考文献

1. 新井健司(2019)群馬県藤岡市における地域連携によるヤリタナゴ保護。第9回全国タナゴサミット口頭発表資料
2. 掛川優子(2017)水辺の輪。No.35. 環境保全型水路に戻り始めた水生昆虫たち
3. 群馬県(1990)群馬県の貴重な自然・動物編
4. 群馬県自然環境課(2012)群馬県の絶滅の恐れのある野生生物・植物編
5. 群馬県自然環境課(2012)群馬県の絶滅の恐れのある野生生物・動物編
6. 群馬県自然環境課(2001)良好な自然環境を有する地域学術報告書27、碓氷・中川流域
7. 野崎隆夫(2001) 昆虫と自然。36、(12)、里山のトビケラ。ニューサイエンス社
8. 藤岡市(1989)藤岡市史自然編
9. ヤリタナゴ調査会(2002)ヤリタナゴフォーラムー小川の未来を考えるー